

令和6年度  
小学校第4学年  
国語

注意

- 1 「始め」の合図があるまで、中を開かないでください。
- 2 先生の指示しじがあつてから、組、出席番号せき、名前を書いてください。
- 3 問題は、1ページから15ページまであります。
- 4 答えは、すべて解答用紙かいの指示された場所にはつきりと書いてください。

組	出席番号	名前

1

次の一・二の文の―部のひらがなを、漢字で書いたときに、同じ漢字であるものを、次の1から3までの中から一つえらびましょう。

一 日きを毎日書く。

- 3 2 1
- きりつしてあいさつする。  
きろくにのこす。  
げんきを出す。

二 せい命のふしぎ。

- 3 2 1
- しんにゆうせいをむかえる。  
せいぎをかんさつする。  
せいかいを知る。

2 次の三つの漢字の [ ] の部分には、同じへんが入ります。もっともふさわしいものを、あとの1から4までのの中から一つえらびましょう。

也 主 乍

- 1 イ
- 2 シ
- 3 禾
- 4 日

3 次の一・二の漢字の矢じるしをつけたところは何画目に書きますか。正しいものを、次の1から4までのの中から一つえらびましょう。

一  
表

- 1 五画目
- 2 六画目
- 3 七画目
- 4 八画目

二  
書

- 1 一画目
- 2 二画目
- 3 四画目
- 4 六画目

4 次の文の「さきました」をくわしく表している言葉を、次の1から4までのの中から一つえらびましょう。

- 1 黄色い
  - 2 小さな
  - 3 花が
  - 4 たくさん
- さきました。

5 次の【小川さんの日きの一部】を読んで、あとの一・二の問いに答えましょう。

【小川さんの日きの一部】

今日、社会科の見学で工場に行きました。わたしたちのグループのしつ問に対して、工場の人からていねいな答えがかえってきたので、みんなは大よろこびでした。そこで見たり聞いたりしたこ  
とやしつ問の答えを新聞にまとめていこうと思います。

一 小川さんは、——部「かえって」を漢字に直すために、国語じてんで意味を調べて、漢字を書くことにしました。この場合の漢字としてもっともふさわしいものを、【国語じてんの一部】の1から3までの中から一つえらびましょう。

【国語じてんの一部】

- 1 かえる【帰る】 もといた所へもどる。
- 2 かえる【返る】 相手からのはたらきかけに返事をする。
- 3 かえる【代える】 あるものに、ほかの役目をさせる。

二 ~~~~~部「そこ」とは、何をさししめしていますか。【小川さんの日きの一部】から書きぬきましょう。

6 森さんたちは、クラスの係をどのように決めるか話し合っています。次の【話し合いの一部】をよく読んで、あとの問いに答えましょう。

【話し合いの一部】

森(し会) 今日のぎ題は「係をどのように決めるか」です。意見がある人はいますか。

川村 はい。まず、ひつような係の人数を決め、きぼうをとります。それから、じゃんけんで係を決めればよいと思います。そうすれば、負けた人もなつとくすると思います。

谷 わたしは、じゃんけんで決めない方がよいと思います。前の学年では、じゃんけんで負けて、なりたかった係になれなかったことがざんねんだったからです。これまではじゃんけんで決めてきました。でも、ほかのほうほうでも決めることができると思います。

高田 わたしも谷さんと同じ意見です。なりたい係になって、がんばりたいと思います。

①川村 先ほどはじゃんけんがよいと言いましたが、じゃんけんにかけてざんねんに思っている人がいたというのを知って、わたしもちがうほうほうがよいと思いました。

森 じゃんけんはやめておこうという意見が多いようです。ほかに意見がありますか。

赤西 わたしは、きぼうが多い場合は、話し合いで決めればよいと思います。

山野 わたしもきぼうする係になってがんばることが大事だと思うので、話し合いにきんせいです。また、なりたい人が多い場合は、話し合って、係の人数を調整するのはどうでしょう。

②森 二人の発言は、(ア)というところが同じで、さらに山野さんからは(イ)という案も出されました。このことについてほかに意見のある人はいませんか。

(話し合いはつづく)

一 川村さんの発言を聞いた谷さんは、の発言の中で、一番つたえたいことがはっきりするよう  
にくふうをして話しました。そのくふうとしてもっともふさわしいものを、あとの1から4までの中  
から一つえらびましょう。

わたしは、<sup>⑦</sup>じゃんけんで決めない方がよいと思います。前の学年では、じゃんけんで負  
けて、<sup>④</sup>なりたかった係になれなかったことがざんねんだったからです。<sup>⑦</sup>これまではじゃん  
けんで決めてきました。でも、<sup>⑤</sup>ほかのほうほうでも決めることができると思います。

- 1 直前の川村さんとはちがう考えをわかってもらうために、<sup>⑦</sup>を大きな声で話す。
- 2 かい決するためのほうほうをわかってもらうために、<sup>④</sup>をゆっくりと話す。
- 3 自分の考えの理由をわかってもらうために、<sup>⑦</sup>を大きな声で話す。
- 4 はなれたせきの人にもわかってもらうために、<sup>⑤</sup>をゆっくりと話す。

二 ①川村さんの発言の仕方のよいところは、どのようなところですか。もっともふさわしいものを、  
次の1から4までの中から一つえらびましょう。

- 1 さんせいや反対だけでなく、かわりとなるアイデアをしめしている。
- 2 友だちのてい案の、よいところとぎ間に思うところをわけて発言している。
- 3 友だちから出された意見を受けて、自分の考えや意見を見直して発言している。
- 4 これまでに出た意見と、自分の意見との共通点やちがう点をはっきりさせて発言している。

三 し会の②森さんは、意見をまとめやすくするために、直前の赤西さんと山野さんの意見を整理して  
います。整理した（ア）と（イ）の中に入る内よりの組み合わせとしてもつともふさわしいものを、  
次の1から4までの中から一つえらびましょう。

1 ア 話し合いで決める

イ きぼうをとる

2 ア きぼうをとる

イ 人数を調整する

3 ア 話し合いで決める

イ 人数を調整する

4 ア きぼうをとる

イ 話し合いで決める

川野さんのクラスでは、自分のクラスのことを調べて、みんなにほうこくする文章を書くことにしました。次の川野さんが書いた【ほうこくする文章の下書き】をよく読んで、あとの問いに答えましょう。

【ほうこくする文章の下書き】

わたしは、クラスみんなはどんな本がすきなのか知りたくて、調べてみました。

「しつ問カード」を使って、「どんな本がすきか。」「その理由は何か。」という二つのことをみんなにしつ問しました。

一つ目のしつ問の答えは、本のしゅるいごとに人数を数え、表にしました。人数のちがいがわかるように、グラフにもしました。二つ目のしつ問については、にているものはまとめて整理しました。

まず、一つ目のしつ問の答えを整理したけっかから、みんなのすきな本は六しゅるいあることがわかりました。答えの多いじゅんに、物語（九人）、たんでい・すい理物（七人）、科学読み物（六人）、図かん（五人）、れきし（三人）、でんき（二人）でした。

次に、二つ目のしつ問の答えを整理したけっかから、「先が読めずどきどきするから」「登場人物になりきることができから」「知らないことを知ることができから」「昔の人のすばらしい考えを知ることができから」ということをすきな理由と答えている人が多いことがわかりました。

クラスのみんなは、いろいろな読書の楽しさを知っているのだと思いました。



一 川野さんは、どのようなねらいで、ほうこくする文章を書こうとしていますか。その説明として  
もつともふさわしいものを、次の1から4までのの中から一つえらびましょう。

- 1 みんなはどんな本がすきなのかつたえるために、経験したことをぐたいきにしようかいする。
- 2 みんなはどんな本がすきなのかつたえるために、集めたじようほうをしようかいする。
- 3 みんなに本をもつと読んでもらえるように、経験したことをぐたいきにしようかいする。
- 4 みんなに本をもつと読んでもらえるように、集めたじようほうをしようかいする。

二 川野さんのはんは、「ほうこくする文章の下書き」のくふうについて、おたがいに書くことにしま  
した。川野さんの「ほうこくする文章の下書き」のくふうとして、あてはまらないものを、次の1か  
ら4までのの中から一つえらびましょう。

- 1 引用を使って、すきな理由をぐたいきに書いている。
- 2 内よりのまとまりが、はつきりとわかるように書いている。
- 3 わかったことを、数字などを使ってくわしく書いている。
- 4 たとえを使って、様子がわかるように書いている。

三 川野さんは、「中川さんのアドバイス」をもとに、「ほうこくする文章の下書き」の——部のあとに文を書きくわえることにしました。あなたが川野さんなら、どのように書きますか。あとの二つのことに気をつけて書きましょう。

【中川さんのアドバイス】

調べてわかったことをもとに、これからの読書について、感想を書いたらよいと思います。



中川さん

- 【中川さんのアドバイス】をさんこうにして書きましょう。
- これからの読書で、本からどのような楽しさを味わいたいかについて、「ほうこくする文章の下書き」をさんこうにして、「わたしも、さまざまな本を読んで、」から書き始め、「という読書の楽しさを味わいたいと思います。」につながるように書きましょう。

※左のわくは下書き用なので、使わなくてもかまいません。答えは、解答用紙に書きましょう。

クラスみんなは、いろいろな読書の楽しさを知っているのだと思いました。  
わたしも、さまざまな本を読んで、

という読書の楽しさを味わいたいと思います。

問題は、次のページにつづきます。

8 川上さんのクラスでは、「生き物のふしぎ」について書かれた【しりょう】をもとに、みんなでリーフレットをつくりました。次の【しりょう】・【リーフレット】を読んで、あとの問いに答えましょう。【しりょう】の①から④は、だんらく番号です。

【しりょう】

(藤子プロ「ドラえもん科学ワールド 未来をつくる生き物と技術」ほかよりさく成。)

【リーフレット】

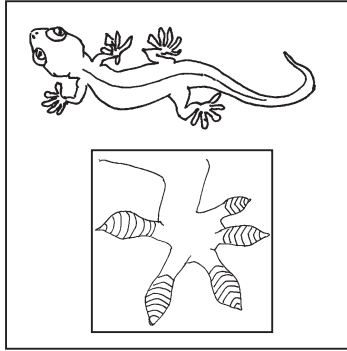
ア

—ヤモリ—

とくちちょう

多くの毛でおおわれ、強くくつつくけれどはがれやすい足。

足のうらに、ひみつがあるよ。



感想

ヤモリの足のつくりをまねしたテープは、**イ**ので、さまざまな問題をかい決し、みんなが幸せにくらせると思いました。

一 【しりょう】の①だんらくの役わりについてもっともふさわしいものを、次の1から4までのなかから一つえらびましょう。

- 1 読み手に対して問いかけている。
- 2 話題について意見を書いている。
- 3 問いに対する答えを書いている。
- 4 考えに合ったれいをあげている。

二 【リーフレット】の②には、タイトルが入ります。タイトルとしてもっともふさわしいものを、次の1から4までのなかから一つえらびましょう。

- 1 生き物を大切にしよう
- 2 生き物の力を生かそう
- 3 生き物とともに生きよう
- 4 生き物の進化をとき明かそう



四

川上さんは、学んだほうほうで、ほかのリーフレットもつくることができると考え、自分のえらんだ「カワセミ」でリーフレットをつくることにしました。次の【リーフレットの下書き】を読んで、  
 【ウ】に入る、もっともふさわしい八字の言葉を、【リーフレットの下書き】から書きぬきましょう。

【リーフレットの下書き】

タイトル

—カワセミ—

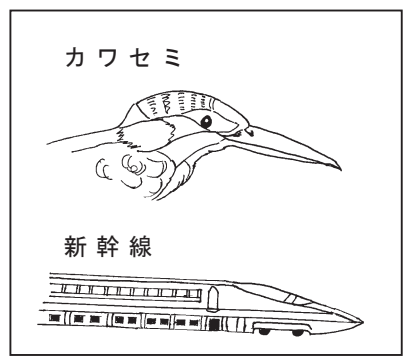
とくちよう

細長くながって、

【ウ】

くちばし。

くちばしに、ひみつがあるよ。



感想

カワセミのくちばしの形をまねることで、音が起こりにくいので、みんながしずかに安心してくらすことができるのではないかと思いました。

(藤子プロ「ドラえもん科学ワールド 未来をつくる生き物と技術」ほかよりさく成。)

※ 左のまずは下書き用なので、使わなくてもかまいません。答えは、解答用紙に書きましょう。

8字	